

多様な仲間に笑顔を



発行

社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
〒421-0412 静岡県牧之原市
坂部 2151 番地 2
TEL:0548-29-0221 FAX:0548-29-0157
E-mail:honbu@yamabatogakuen.jp
<http://www.yamabatogakuen.jp/>

機関誌代は無料です。

二〇二五年度は、牧ノ原やまばと学園創立五十五年目に当たります。職員十二名(園長や調理員も含む)で始まった学園は、今では四百名を超える規模に。一様なニーズに比べられるようになったのは喜ばしいことですが、ご利用者の笑顔は増えただろうか? 職員の笑顔は? 地域は? と考えると課題が多いと気づかれます。

規模の拡大は、人間関係の希薄につながると思われますが、当法人でも「その人、だれ?」とか「えッ、退職したの? いつ?」といったことも多くなっています。全ての人を知ることは無理であつても、一緒に働く「施設」や「ユニット」においては、喜びや苦勞を分かち合い、助け合うことを通して、絆が深められますよう願うことです。

当法人には、EPA生や特定技能生など外国籍の人も増えていますが、職場からは、「皆さん、しっかり業務をこなし、ご利用者への対応も丁寧」と良い評価が聞こえています。安心していただのですが、しかし最近、入職まもない(七か

月目位)技能生から、「転出した」との申し出があり、驚かされました。「今の職場は嫌いではないが、お金が欲しい」との理由。ウエブの求人サイトで「高額報酬」の職場を見つけたようでした。しかし内容を確認してみると、仲介業者にしても、転出後の職場にしても、どこか信用できません。探してみても疑問は深まるばかりでした。結局、技能生を支援する団体と協力して、ご本人に情報を伝え話し合ったところ、「転出しない」という結論になったのでした。

技能生には相当の借金があること等、いろいろなことを知り考えさせられましたが、一つだけ良かったのは、本音を聞けたこと。これを機に、より現実的で適切な対応ができるよう願っています。

さて、今回のビッグニュースは、(各施設から届いた記事や写真をあまり削除しなかったため)、巻頭文を短縮する結果になりました。長い報告や短い記事等、施設によつて違いますが、神様から守られ導かれた私たちの歩みをどうぞご覧ください。ご支援頂いた多くの方々から感謝いたします。

〈理事長〉長沢道子

ビッグニュース(2024年4月~2025年3月)

法人全体

★ミャンマーから特定技能「介護」生4名、インドネシアからEPA生2名を受け入れる。(全員女性)

ミャンマーから「ミャーさんとモさん」が来日し、8月15日から聖ルカホームで働き始めました。同じく「カンさんとフーさん」が、9月1日からグレイスに着任。12月19日からはインドネシア人「リナさんとニンディさん」が垂穂寮で働き始めました。障害者支援施設でのEPA生受け入れは初めてです。

★「やまばと未来計画《第一次中長期計画》」が9月15日から始動

「やまばと未来計画(案)」が、9月の理事会で承認され、動き始めました。6グループ(経営・人材・支援・研修・建物&環境・地域社会)に分かれて検討し立案します。施設管理者会議で毎月、進捗状況を共有。計画(案)は、その内容に応じて、経営会議や理事会で検討。

★10月1日の最低賃金大幅アップに対応するため、「給与規程」改正に取り組む(11月~3月末)

静岡県の最低賃金額が984円から1,034円になったので、全職員の給与額改正に着手。顧問社労士・小山圭子先生の指導を受け経営会議で新案を作成。理事会の承認を受け「次年度から実施」に。公休日115日。財源としては、処遇改善加算だけでなく、1000万円ほど法人からの拠出もあります。

★「コスモス」は、就労継続支援(B型)事業所の活動を年度末をもって終結。次年度からの「生活介護」事業に備えて、建物改修工事に着手(2月1日)、5月に完成予定

45年間「作業所」としての役割を果たしてきましたが、ご利用者の高齢化等もあり、種別変更することになりました。

★牧之原市から委託された介護予防通所事業「コミュニティセンターぶどうの木」、年度末をもって活動を終結

2008(平成20)年から委託された事業です。近年は利用者減もあり、次年度からは「短時間デイサービス」の業務を、牧之原市社協の「デイサービス」事業に移すことになりました。なお介護予防事業の一つ「啓発事業」は、聖ルカホームが担当する予定。

その他

★潮谷義子先生(慈愛園前理事長)をお迎えして、新年度全体職員研修(4月20日)

★「電気、又は、水道が使えない」という想定で、全体防災訓練を実施(11月14日)

生活支援センター やまばと

★「重症心身障害児者対応多職種連携研修」の企画と開催を担当(12月8日)

長い名称ですが、研修の目的は、地域の「重症心身障害児者とそのご家族」の皆さんが、安心してのびやかに暮らせるようになること。当日は、当事者とそのご家族から現状報告があり、参加した医療・教育・福祉の関係者たちは、課題解決のため何ができるか検討しました。人工呼吸器をつけて参加した少年のお母さんは、ここに来るまでに、本人の身体のチェックや器具の装着、ストレッチャーのスムーズな出し入れ等々のために、多くの人の協力が必要だったと語り、健常者にとって何でもない外出も、重い障害者にとっては、相当の準備と時間を要することが再認識されました。苦労の絶えないように思われるご家族(特にお母さん)ですが、実際には、明るくポジティブな方が多く、交流を通して、こちらが元気づけられました。



★地域貢献交流事業への参加(9月、2025年3月)

この事業は、「ゆるやかな自然な形で地域の方たちと障害者とは交流する機会をつくりたい」という願いから始まったもので、当センターのスタッフが営む「喫茶ほとり」を会場にすることが多く、その活動を牧ノ原やまばと学園が後押ししています。2024年度は、カフェ祭り、一人暮らし高齢者へのランチのお届け、しまだっこ(島田市こどもの学習・生活支援事業)との交流会等を実施、施設のご利用者と職員が参加しました。回を重ねるにつれ、積極的に声かけしたり、慣れた手つきで商品を販売したりするご利用者の姿が見られ、継続していくことの大切さを感じました。



★相談員の働き方の見直し(早番、遅番の施行)(9月)

当センターのご利用者の中には、8:30~17:30など1日中働いている方もいますので、面談等しやすきよう相談員の勤務時間を1時間ほど早くする、あるいは、遅くすることを始めました。

ライフサポート さふらん

★登録ヘルパーが初めて育児休業を取得

産前に仕事していた頃、少しずつ大きくなるお腹を、たくさんのご利用者が見守っていただきました。3月に無事出産、今は、職場復帰に向けて育休中です。

★感謝の言葉をたくさんいただき、励まされました

2024年度は、終末期ケアに携わることが多く大きなプレッシャーもありましたが、ご家族やケアマネージャーから感謝の言葉をいただき元気づけられました。大切な時間にご家族とともに「ケア」に当ることができ、多くの学びを得ました。今後の仕事に繋げていきたいと思います。

★約6年ぶりの、県と市による運営指導が無事終了(1月31日)

久しぶりの運営指導であったため、関係する職員は緊張の一日を過ごしました。調査を通して、県や市の方から助言をいただき、情報共有することもでき、有意義な時間でした。県の方から「介護保険法の理解がしっかりできています」との講評をいただき、職員はホッとしました。



牧之原地域包括支援センター オリーブ

★行政主催の「新任職員研修」6回シリーズに、職員4名が参加

2024年度は、所長を筆頭に、包括支援センターの経験のない職員3名が配置されてスタート。前年9月に採用の職員も含めて計4名の職員が、標題の研修に参加。介護保険制度の基本の習得から始まり、支援計画の作成までの「知らないこと尽くし」の研修は、それはそれは大変な苦行でした(所長の弁)。しかしこの苦労を是非とも高齢者の支援に生かしたいと、一同強い気持を持って無事全ての研修課程を終了しました。

★津波のリスクを実感した防災訓練

オリーブの事務所は、海水浴場で有名な静波海岸までは約1km。海拔は4m。大地震の際は津波が一番心配される場所にあります。当日の訓練では、職員は、避難場所に指定されている近くの「川崎小学校」屋上まで実際に歩いて行き、避難経路を確認。職員は危機感を共有しました。



地域活動支援センター レタスクラブ

★今年も住吉海岸清掃と、湯日川のゴミ拾いを続行

行く度にゴミが少なくなっており、世界中の人が意識してきれいな環境づくりをしていることを実感します。捨てる人が減ると、海や川、こころもきれいになり、うれしく思います。

★「畑でたくさんの野菜を収穫できました」

レタスの活動の中に「農作業」があります。あつまりーナの畑に、大根、ナス、ジャガイモ等を植えたところ、たくさんの収穫がありました。皆でワイワイ掘り出し、毎日の味噌汁の食材にして、おいしくいただきました。



垂穂寮

★風棟のトイレ改修、使い易くて綺麗な環境に(5月～7月)

工事内容はトイレ増設とシャワールーム設置。工事期間中は、騒音があり、ご利用者の皆様には簡易トイレの使用などご不便をおかけしました。改修後のトイレは以前に比べて広く明るくなり、シャワールームも使い易いです。ご利用者もすぐ新しい環境に慣れました。

★大津地区の「夏祭り」と「ふれあいまつり」に参加(8月3日/11月3日)

8月の「夏祭り」には、ご利用者14名が、会場の「農村環境改善センター」へ行き、車中から、ワクワクした表情で花火を鑑賞しました。「ふれあい祭り」には、高田様、川本様、石野様が参加。「農村環境改善センター」に設置された模擬店を回り、WoCやまばとのパンや、ジュース等を買ひ、ご満悦でした。



★秋祭りとクリスマスにご家族を招待、5年ぶり!(11月5日/12月14日)

コロナ感染対策のため行事の規模は小さくなりましたが、ご利用者は、ご家族と再会してたちまち笑顔に。当日は、準備や片付け、昼食介助等々、ご御家族の皆様が協力して下さい、行事を円滑に進めることができました。ありがとうございました。

★インドネシアからのEPA生、ニンディさんとリナさん、垂穂寮へようこそ!(12月19日)

現在、新しい環境の中で、日本語を学びながら勤務中。お二人とも、笑顔を絶やさず、ご利用者に丁寧に対応される方で、ご利用者も職員も大切な仲間と感じています。「日本語の上達」、そして、「介護福祉士の資格取得」のため、がんばってください。

デイサービスセンター 真菜

★101歳と100歳の女性をお祝いした敬老会!(9月)

今年は2名の長寿者がおられ、うれしい限りです。

長生きの秘訣は、「雑草のように生きていく」とのことでした。



★静岡空港へお出かけ!(5月)

曾孫ちゃんのために、飛行機のお土産を慎重に選び、嬉しそうに買って帰るご利用者の姿が印象的でした。

★うれしい手作りゼリー!(4月)

おやつ作りが得意なご利用者が、百歳の誕生日を迎えるご利用者と、仲間のために、甘夏ゼリーを作して下さいました。



7月にも、花もさんへ「クリームソーダ風ゼリー」をお届けし、喜ばれました。

★補助金を活用して入浴リフト導入(2月)

入浴リフトを導入しました。今まで以上に、ご利用者さんが安全・安心して入浴できるように活用します。



★中庭に土が入り、畑がやっと完成!(2025年3月)

2年越しの案件でした。待ちに待った畑です。何を植えようとワクワクしています。その後どうなったかお知らせしますね。乞うご期待!



ケアセンター 花もも

★2人のご利用者、Mさん・Kさんの、成人のお祝い(1月24日)

スーツに身を包んだ2人は、いつも以上に素敵で、ご本人たちも誇らしげ。「カッコイイ!!!」ご家族も出席され、皆で盛大に喜び合うことができました。仲間たちと共に、いろんなことにチャレンジしていきましょう!

★さまざまの人が集った納涼祭

保護者の方だけでなく、近隣の聖ルカや、真菜の方たちも参加。学生さんたちも手伝ってくれ、にぎやかなお祭りになりました。金魚すくいやくじ引き、フライドポテトや冷やしそば等々、そして、みんなで踊ったマツケンサンバも、忘れられません。



★クリスマス会で「赤鼻のトナカイ」などのハンドベル演奏、3曲披露!

今年も、ご家族やお世話になっている方たちをお招きし、楽しくて賑やかな時を過ごしました。最大の出し物は、音楽教室の松浦先生のご指導のもと練習を重ねたご利用者の皆さんのハンドベル演奏。その様子は、録画され、午後、皆でXマスケーキを食べるとき、もう一度見ることができました。



ケアセンターかたくりの花

★焼津市防災センターを2回訪問(11月22日、2025年2月28日)

怖がりの稲守信也さんは緊張の面持ちで地震体験装置へ。

しかしすぐ向きを変えて戻ってきました。防災シアターにも怖くて入れませんでした。2度目の訪問では、地震体験装置に何度も上がったたり降りたりし、迷いに迷った末、ようやく上がれましたが、非常に険しい表情のまま。気の毒ですが、地震がくるかもしれないと思うと、この体験も必要なのでしょう。風水害3Dシアターでは暗くなると3Dメガネを着けたまま慌てて出てきましたが、前回入れなかった防災シアターでは、落ち着いて可愛いくまもんを観る事ができました。達成感を味わったのでしょうか。その後のランチをおいしそうに食べ、食後は「ブッ…」と吹き出し笑いをしていました。



★木製の立派なおもちゃがたくさんある「焼津おもちゃ美術館」へ(2025年2月27日)



果樹にぶら下がった木製のリングをもぎ取ったり、木製知育玩具の電車や車を手で動かしたり、遊ぶのに迷うほどでした。大橋直人さんは、車イスから降りて、木製の卵型ボールが一杯入った「木の大海原」に入水(?)。最初は緊張して身体が強張っていましたが、手足にボールをのせて木のぬくもりを感じたりし、自然と笑顔がこぼれ穏やかな表情になりました。その後、「喫茶ほとり」に移って、素敵な音楽を聴きながら昼食。ボリュームたっぷりのナポリタンを口一杯にはおぼり、終始笑いが止まらない大橋さんでした。

★年に一度の楽しみ、お洒落な雰囲気のカフェ店「アルム」で食事(6月28日)

「アルム」へ行く前、みんなで利用者会議を開き、食べるものを決めます。ケーキはチョコとチーズから／ドリンクはコーヒー(ホットorアイス)とオレンジジュースから、写真を見て選択するのです。宮崎健介さんは迷いながらも「これ!」とチーズケーキとアイスコーヒーを指差しました。入店するとソワソワし始めます。実は宮崎さんは、毎年訪れ、待ちわびてきた所にもかかわらず、慣れない場所は怖いのです。しかし、注文の品が運ばれてくるや否や、一変。「ゆっくり味わってね」の職員の言葉もよそに、2~3口であっという間に食事完了。最後にニヤッと嬉しそうに笑って、「また来るね」の気持ちを込めて、優しいマスターと奥さんに、「した! (ありがとうございます)」と伝えたのでした。



★クリスマスでの演奏会(12月20日)

ご利用者はみんな、音楽活動が大好き。山本将三さんは毎日、何度も、「今日音楽やる? 楽器出す?」と職員に聞き続けます。9月頃になると、クリスマスの発表会のための練習がスタート。曲や担当楽器を決め、11月後半には本番さながらとなります。さて、クリスマス本番当日…。山本さんは緊張から不安定になり、演奏開始と同時にトイレへ駆け込む事態に。彼が戻ってくるまで、講師の久世先生は素敵なクリスマスソングを引いて繋いでくれました。山本さんも戻り、いよいよ演奏開始。見ると、彼の足が震えています。「力をぬきましょう」と職員が声かけし、落ちつくことができました。最後は、保護者も職員も全員が楽器をもって「ジングルベル」。山本さんは緊張から解放され、大好きなお父さんお母さんと一緒に、首を振りながら楽しそうに和太鼓を叩いていました。



★言葉なく仕草もない人と、心が通じる「朝の散歩」(25年1月~)



横山岳さんの手足や顔、視線はいつも動いていて、言葉もないので、その気持ちを汲み取るのは容易ではありません。そんな彼の気持ちがかかり分り易く出るのが「お散歩」。今年1月から、職員(鈴木)の発案で毎朝10分間の自由歩行を始めました。型取りした専用靴を装着しての散歩。手をつないで、日々の何気ないことを話しながら、彼のペースでゆっくり歩きます。そんな穏やかな時間は、職員にも充足感を与えてくれます。もちろん返答はありません。それでも穏やかな表情で遠くをゆっくりと首を動かし眺めている彼と、しっかりと心が通じていることを感じます。冷たい日も日差しの強い日も、ベルトと胸ベルトを外すと、「待ってました!」とばかりにスリと車椅子から抜け出る横山さん、これからもたくさん歩こうね。

居宅介護支援事業所 シャローム

★吉田消防署消防士数名による救急実習に参加(8月)

恵みの丘の3事業所(シャローム、グレイス、すずらん)

の職員が参加。いつ緊急事態が発生しても冷静に行動できるよう、心肺蘇生術とAED操作について真剣に学びました。日頃からの訓練が重要。訪問先でAED表記を見つけたときは、設置場所を意識して確認しようと思っています。



★ふくしの種まき(11月16日)

聖ルカホームにて行われた「ナゾときカイゴ」(県の事業)に参加しました。

小学生が対象の体験イベント。子供たちから介護の仕事に関するインタビューを受けたときは、ハツとするような鋭い質問もありましたが、みんな楽しそうで福祉にも興味がありそうでした。いつか仲間になってくれたらいいなあ…



みぎわ(グループホーム)

★みぎわ駐車場で、ご利用者と職員が消火訓練(5月19日)

1年前、ご利用者は、消防署の方から消火器の正しい使い方を教えて頂いたので、今回は、職員から一部助けてもらいながら復習することができました。これからも定期的な訓練を継続していきたいです。



★職員と一緒に飾りつけたクリスマス(12月25日)

ご利用者はとてもうれしそうに飾りつけしました。昼食は、Xマス限定の特別のご馳走。その後、サプライズで職員が扮するサンタクロースが登場し、ビックリしたり、大喜びしたり。



★みぎわの玄関で「鬼は外!福は内!」(2025年2月2日)

お正月あけから「2月、豆まき」と言い続けているご利用者がいましたが、いよいよ本番。お面に向かって豆を投げ、つぎつぎに命中。「さすが」の腕前でした。



★しまだっ子との「ちょこっと交流会」(2025年3月22日)

島田の小・中学校に通っている6名の子どもさんと、やまばと関係者(垂穂寮からご利用者3名と職員2名、みぎわからご利用者2名と職員1名)との交流会。お互いに自己紹介をし、プレゼントを交換。子どもさんからは折り紙で折った立体的な作品が、ご利用者からはやまばとサブレが贈られました。「緊張したけど楽しかった」との感想でした。



わかば・もくれん

★第一日曜日に吉田港海岸清掃参加

天候不良で中止になることが多かったのですが、当年度もLove continues主催のこの活動に参加しました。昨年度から続けているので、皆さん慣れたもので、現地に到着するとすぐ、ゴミ拾いを始めます。活動中も、ゴミ拾いを終わった後も、充実感溢れた表情を見せてくれました。



★スイーツファクトリー(おやつ作り)

わかばでは毎月1回、おやつ作りを楽しんでいます。わかばの仲間全員に声を掛け、それぞれが各工程の担当となっておやつを作り上げていきます。「みんなでスイーツを作る」が目標だったので、最初のレシピは、誰にとっても作りやすいお菓子でしたが、徐々にレベルアップ!今では、見た目にも鮮やかなスイーツを作るようになっていきます。出来上がると、コーヒーが提供され、ちょっとしたぜいたくな気分を味わっています。



★杉本政樹さん。さようなら・・・。(11月25日)

入院中の「島田市総合医療センター」から、「杉本政樹様が亡くなった」との一報が入ったときは、職員一同、呆然となりました。1ヶ月前、10月24日に入院した時は、まだ自力で歩くことができていたからです。……彼については、入浴中に浴槽に潜ってはしゃいでいたこと、いつも決まった仲間とともに散歩したことが思い出されます。政樹さん、いろんな思い出をありがとう



★松下さん、行ってらっしゃい。(3月17日)

2010年から「もくれん」で生活していた、松下雅夫さんが、生活の場を「聖ルカホーム」に移しました。14年間も暮らした「もくれん」なので、もう少し名残惜しんでくれるかと思っていたら、退所日の当日は朝早くから、「聖ルカホームへ行きたい」と、職員を急かしていました。切り替えの早い雅夫さん、聖ルカホームはすぐ近くですから、遊びに来て下さい。常に前を向いて生きる雅夫さん、これからも元気で過ごしてください。



診療所

★障害者部門での医療的ケア

高齢者施設では、「ご利用者ご逝去」のニュースは珍しいことではありませんが、障がい者施設ではまれです。そんな中、2024年度は、障がい者施設のご利用者が3名も亡くなり、驚くとともに考えさせられました。1名の方は、病院を退院後も医療的ケアが必要となり、それにふさわしい医療介護施設を探したのですが、なかなか見つからず、垂穂寮で(ご家族が見守る条件で)受け入れることに。病状が一進一退する中、診療所のドクター赤堀先生が、多忙な業務の合間にも施設に来てくださりアドバイスして下さいました。課題は残ったままですが、不十分な環境下でも、ドクターと職員で協力でき、ご家族が見守る中、ご利用者が旅立たれたのは良かったと思っています。



ケアセンターマーガレット

★通所生・杉本政樹さん、よい思い出をありがとう! (11月24日)

いつもニコニコと穏やかに過ごされ、暖かい雰囲気醸し出して

下さっていました。地上ではもう会えませんが、本当にありがとうございました。



★富士サファリパークへ、日帰りバス旅行 (11月28日)

バスの中から沢山の動物を見ることができ、ご利用者も職員も、興奮しました。車中ではビンゴゲームで盛り上がり、昼食は釜めし。とても楽しい旅でした。

★68歳を迎えた白瀧清さん、高齢者施設へ移行。(12月23日)

いつもニコニコして、いたずら好きでお茶目な清さんは、みんなから愛され、「癒しの存在」でした。新天地でも、きっと愛されることでしょう。変わらずお元気で楽しく過ごして下さい。



★フェイスブックとInstagramを開設しました。(8月から)

定期的な更新はなかなか難しいですが、皆さんにわたしたちのことを知って頂けるよう頑張ります。保護者の方からは「自分の子どもが写っているとテンションが上がる」等の声がありました。フォロワー数、増えるといいなあ。



ワークセンターなのはな

★2024年度はグループに分かれて様々の体験や活動 (10月～3月)

計画段階からグループで話し合い、皆さんの希望にあう計画を実行しました。



どこへ行き、何をしたかを列挙すると、焼津青少年の家・企業見学(ニシダ(株)大村醤油)・磐田新造形創造館・蓮華寺池公園のウォーキング等があります。特に、受託企業への見学では資材から製品化され店頭で売られるまでの過程を知ることができ、働く意欲が高まりました。帰りに立ち寄ったお店では、タッチパネルを使ってモノを購入する体験もできました。

★グループで分担して昼食づくり (6月14日)

夏野菜カレー・うどん・サラダ、ゼリー等を、グループで計画し、それぞれが献立を担当して調理。完成したご馳走は、バイキング形式で食べました。仲間からの「おいしい」という言葉に満面の笑み、みんなで協力しあう喜びをかみしめる、楽しい時間でした。



★多機能室で夏祭り (8月15日)

今回は、室内に「焼きそば、フランクフルト、たこ焼き・ジュース・かき氷・ゲーム」のコーナーをつくりました。職員が売り手となり、購入するときは、手作り硬貨を使用。支払い方法について学びながら楽しみました。食物よりゲームを楽しむ人、かき氷を3種類も制覇する人等々…「またやりたいたいなあ」と大盛況。暑さ払いの愉快的な時でした。



★駐車場で、起震車体験 (7月26日)

民生委員や近所の方もお招きして、皆と一緒に、地震に関するお話を聴き、起震車に乗って地震を体験しました。防災グッズの紹介なども行いました。地域の方と一緒に学び、障害を持つ方たちと親しくなって頂き、災害時に気軽に援助していただくきっかけになることを願っています。



ワークセンター希望の家

★3名の新しい仲間を迎えて、大喜び (3月)

1人は、自宅を離れてグループホームへ入居後、こちらへ通うことになった方、もう2人は、コスモスが生活介護になるため移行してきた方たちです。大歓迎です。一緒に仲良く働き、頑張りましょう!



★数年ぶりに保護者を招いてクリスマス会 (12月19日)

イエスキリストにまつわる紙芝居を見たり、おいしい食事、ゲーム、プレゼントと、楽しいひと時を過ごしました。



★「KADODE大井川」へお出かけ (3月7日)

昨年はコロナが広がって断念しましたが、今年は無事実施できました。昼食とお土産は、自分で選んで購入。「お寿司?」「とんかつ?」「お土産はコッコにしようかな?」など、皆さん、選ぶのに四苦八苦でした。



ワークセンターさくら

★松下雅夫さん、高齢者施設へ(5月17日)

学園の人気者、雅夫さんが高齢者のデイスサービスへ移行しました。仕事が大好きで、「納品行くよー」と笑って大声で荷物を運び入れてくれたことを思い出します。長い間さくらで頑張ってくださり、ありがとうございました。



★職員のSさん、長いお働き、ありがとうございました(2025年1月31日)

やまばと勤続38年、さくら勤続16年のSさんが、第2の人生に向けて退職されました。さくら開所当時からパンを焼き、ご利用者や地域の方々に喜んでいただきました。温厚な人柄で、私たちの拠り所でした。有難うございました。

★目標工賃を達成!!!

2024年度事業計画に則り、ご利用者の能力向上のための支援体制を整えました。各人の強みに着目し、できる作業の幅を広げたので、できる作業が増え、就労支援収入につながりました。県届出の「工賃向上計画」の中の2024年度工賃目標を上回り、ご利用者と職員一同大喜び、胸を熱くしました。

★2024年度は、特別支援学校の生徒さんの見学や実習が増えました

吉田特別支援学校関係者の皆さんの見学や実習が増え、延べ7名に。ここ10年余り新卒のご利用者が無く寂しい思いをしていますが、若い生徒さんたちが実習に入り作業室も華やぎました。その結果、2025年度4月から2名の方が利用し始めます。



コミュニティセンターぶどうの木

★「心身の状態が安定した方を対象に、新しく「キープアップ事業」を追加(2024年4月より)

内容は、認知機能維持のための学びをしたり、喫茶店や外出先で過ごす時を設けるなど。卒業した方たちのために、自宅や地域で、予防を意識した生活ができるよう支援しました。

★介護予防事業所としての「ぶどうの木」、27年間の委託業務を終え、活動終結

利用者減もあり、短時間デイスサービス事業は、2月から市社協の通所事業所「陽だまり」に移ることに(市の方針)。ぶどうの木関係者は、年度末まで仕事の引き継ぎに協力しました。「一般介護予防事業(啓発事業)」は、今後も法人(高齢者部門の聖ルカホーム))が担当します。



ワークセンターコスモス

★就労継続B型事業所「ワークセンターコスモス」としては、最後の年に。

コスモスは小規模作業所として1980年に設立され、45年間「作業所」の役割を果たしてきましたが、2025年4月からは「生活介護」に種別変更し、名前も「ケアセンターコスモス」になります。それに備えて、老朽化した建物を改修することになり、2月に着工、3月現在、作業室やトイレ、外壁の改修が、計画通りに進んでいます。別の「作業所」へ移行した方もいますが、大半のご利用者は、そのまま留まる予定。新しく変わっていくコスモスを、今後ともよろしくお願いします。



★個別支援を目的とした外出先での体験学習(4月から)

初めての試みに、「楽しみだね。早く行きたいな」との声が聞かれました。

駿府匠宿での絵付け体験では、お皿に絵を描いて作業完成。半年後、コスモスに、焼きあがったお皿が届き、みんなから「すごいねー!可愛い」「また行きたい」等の声。世界に1つだけのお皿に大満足でした。

★恒例の夏祭り(8月)

今年は、金魚すくい、くじ引きなどのゲームをしました。売り子はハチマキをして「いらっしやいませー」と大きな声。盛り上がりました。色々な種類のアイスから、食べたいアイスを選んでもらいました。「おいしいね」「冷たいね」と笑顔で語り合っていました。



相 寿 園

★相寿園の庭に四季折々の花、4月は、つつじ!

見事に咲いたつつじの花が、ご利用者と職員、お客様を喜ばせています。これも、有志のご利用者達のおかげ。園内をいろいろの花で埋め尽くそうと、土や肥料を選定し、土を耕してくれるからです。季節に応じて、違った花を見られるのは幸いです。



★海鮮料理店「うおとも」様の招待で、市内施設関係者が食事(6月5日)

コロナの流行で暫く中止になっていましたが、待望の「招待食事会」。おいしい料理でした。わたしたちは、練習に練習を重ねた踊り、「365歩のマーチ」を他事業所の皆さんの前で披露。楽しい交流の時でした。



★館内で、ひと味違う納涼祭(7月23日)

今回は町の露店をイメージしたゲームを実施。魚釣りゲームや景品輪投げ等、身体を動かすゲームを企画。皆さん、夢中で楽しんでいました。



★敬老会:節目の長寿の方(喜寿、傘寿、米寿、卒寿等)を、全員でお祝い(9月17日)

該当する方には、似顔絵を贈呈してお祝い。今年の最高齢の方は94才の女性でした。皆で、ボランティアさん提供の「頭と身体を使うゲーム」に熱中しました。

グレイス

★入居者M様のご長男と友人によるファゴットのミニコンサート(4月18日)

ご家族の「施設入所後にも趣味の楽器演奏を聴かせてあげたい」という思いから実現。機材搬入から機器のセット・調整まで、全てお二人で実行。当日は他の入所者や面会に来られたご家族も聴衆席に座り、小さいながらも感動的な催しになりました。



★ミャンマーからの技能実習生、フーさんとカンさん、9月から着任



当初の来日予定がかなり遅れ、8月末にやっと来日。9月から就業前研修開始。明るく活発なフーさん、静かで思慮深いカンさん、半年間の間に、日本語の理解と業務の習熟が進み、次年度5月からの独り立ちに向けて頑張っています。



★施設で本格的な石焼き芋! (11月12日)

相寿園からお借りした石焼き芋の機械、聖ルカホームでまず活用。それを、5名のスタッフが何とかグレイスへ運び込み、朝9時から焼き始めました。徐々に焼き芋の甘い匂いがし始めると、スタッフに連れられてご利用者が到着。アツアツの焼き芋をすぐ召し上がる方もいれば時間を経てからの方も。その日の焼き芋はフルに活用され、昼食後、アイスを添えたデザートとしても提供されました。



ワークセンターカサブランカ

★島田警察署交通課の方を招いて交通安全講習会(7月18日)

シミュレーション動画を使用して、交通安全予知トレーニングと交通マナーについて学習しました。



★夏の納涼食事会で、ほっと一息(8月23日)

夏は、カサブランカにとって1年で一番の「繁忙期」。お盆休みも無く作業に従事することもあり、その慰労とねぎらいを兼ねて、近隣の焼肉「どんどん」で、利用者と職員が会食しました。



★数年ぶりの日帰り研修旅行、焼津方面へ(3月22日)

午前中は焼津おもちゃ美術館で木のおもちゃのメンテナンス作業の体験と美術館での観覧、午後は食品サンプル作りを体験しました。サンプル作りでは、参加者全員、いつもの作業よりも真剣な表情で取り組んでいました。



★一般企業への就労者、3名に!

3名の方の就職先は、「(株)茶問屋川村翠香園」様。「特種東海製紙(株)」様、「(株)志太紙業」様です。どの会社も、見学、面接から就職に至るまで、期間をじっくり取って下さり、おかげで、ご利用者は安心し自信をもって就職することができました。今回の就職で終わりではなく、ここが出発点。ここから長く働いて行くことが目標です。頑張ってください。皆で応援しています。



ケアセンター野ばら

★動物保護協会のお世話で、

ワンちゃんたちとホッとするふれあい(6月27日)



職員とボランティアの方々に連れられて、10匹程のワンちゃんが来訪。ご利用者たちがブルーシートの敷かれたホールで椅子に座って待っていると、頃合いを見て、いろいろのワンちゃんが登場。膝の上に子犬を載せてもらって喜んだり、大型犬の頭をなでて笑顔になったりしました。そばで関係者の方々が見守ってくださるので、ご利用者もワンちゃんも安心して触れ合い、心が穏やかになりました。癒されたのは、ご利用者だけでなく、野ばらの職員たちも癒されました。

★愛知県へ、みんなで、日帰りバス旅行(9月6日)

行先は竹島ファンタジー館、蒲郡オレンジパーク、竹島水族館です。朝9時に出発し、バスに揺られた後、11時にファンタジー館へ到着。貝とイルミネーションのテーマパークを見た後、オレンジパークで昼食、最後に、水族館を楽しみました。保護者の皆様が、野ばらまで送迎して下さったおかげで、「思い出に残る素敵な一日」が実現しました。感謝です。



★ホールが満員になった秋祭り(10月12日)



茶間屋ショーゴさんをお招きして、珍しい楽器に耳を傾けたり、「ウサギと亀」の指人形を見たりしました。のこぎりで作った楽器の音は、ぎーぎーという音がします。(本当です!) 変わった楽器の演奏をご利用者も体験させていただきました。保護者の皆様も招待したので、満席での観賞になりましたが、人形劇など大好評で、とても楽しい一時でした。ありがとうございました。

★愛護ギャラリー展、3名のご利用者が受賞(表彰式は12月5日)

3名が受賞され、会場で記念撮影(中央が飯塚達人様、左が久保田紀之様、右は塚本正道様)。野ばらでは、ご利用者ひとりひとりの秘められた力を引き出したいと、創作活動にも力を入れ、時間を多くとっています。月に一度の絵画教室には、画家の桑島よしみ先生に来て頂いて、のびのびと、かつ、真剣に、絵をかいています。日々の努力が積み重ねられて、実を結んだこと、そして、そのお手伝いができたことを、スタッフ一同も喜んでます。



やまばと希望寮

★ご利用者さんとお別れ、そして、新しい出会い(4月)

希望寮開設当初からのご利用者、Y/Hさんが逝去され退所になりました。

ご家族にとっても愛されていた方で、私たちもその笑顔が忘れられません。しばらくして、私たちは新しい仲間を迎えることになりました。愛くるしい笑顔でいつも周りを和やかにしてくれるOMさんです。ようこそ、OMさん、よろしくお願いしますね。



★ユニバーサルジャパンや奈良公園観光のため関西方面へ(6月3日~4日)

ご利用者様5名、職員3名の計8名で、1泊旅行へ。二日間とも天気に恵まれ、いつもと違った場所、雰囲気、食事を満喫し、五感で楽しんだ旅でした。



★2024年度の外出は、ご家族と一緒に!

ご家族様とご利用者との交流を目的に、「ご家族も一緒」の外出プログラムを実施しました。5月のフラワーパーク、9月の名古屋港水族館、10月の御殿場高原時之栖、11月の小国神社など。ご家族から、「自分たちだけで出かけるのは難しいけど、これなら楽しめるよ!」という感想をいただきました。



★ご家族だけでなく、多くの方々と共に楽しんだ秋祭り!(10月19日)

なんと総勢120名を超える方が集まりました!民生委員やご近所の方など地域の皆様。そして、やまばとのOBやOG、ボランティアの皆様には、フランクフルトや焼きそばなど、ご馳走コーナーのお手伝いもしていただきました。そんな中で、やはり、ご利用者が一番、うれしそうでした。



ワークセンターやまばと

★2つのグループが、静岡空港へ買物に(5月22、5月30日)

お菓子や雑貨を見て、すぐ、「これを買う」と即決する方、迷いに迷う方など、様々でしたが、選んだものは、ご自分でレジに持参し精算しました。働いて得たお金で欲しい物を購入することは、自立に向けた良い体験になり、働く意欲にも繋がることでしょう。



★毎週、火・木曜日(10時～13時半)、パン・焼き菓子の直営販売(11月7日)

目的は、地域に私たちの仕事を知ってもらうため、また、ご利用者の工賃アップのためです。お客さんの多い日、少ない日と、まだまだ傾向が掴めませんが、毎回来店して下さる方もいらっしゃいます。ご利用者は全員、日替わりで販売員になります。直営販売でしか売っていないパンもありますので、是非、ご来店くださ～い!!!



★運動不足解消と地元の歴史学習を兼ねてハイキング(11月22日)

この地区にある名刹「石雲院」へハイキング。足に自信のある方は当事業所から徒歩で、自信の無い方は現地まで車で移動しました。遺跡や指定文化財のある場所では、市の元文化財保護審議会委員様の説明を受け歴史を学びました。

★鈴木千春施設長の退任(2025年3月)

約2年間でしたが、ご利用者と職員にとって安心できるお母さんであり、頼れる看護師さんでもありました。やむを得ない事情のため離れるのは残念ですが、よい出会いに、みな、感謝しています。

聖ルカホーム

★聖ルカホームに新卒者1名、着任(4月1日)

笑顔がとても素敵で、丁寧なケアができる介護員です。これからの成長が楽しみな方でもあります。みんな、喜んでいます。



★ご利用者とご家族との交流の場を多くもちました

コロナの流行でご家族との交流が途絶えていましたが、今年は、敬老会とクリスマス会を「ご家族参加のイベント」としました。多くのご家族にご参加いただき、にぎやかで楽しい時を過ごすことができました。フォトムービーの上映を通して、日常の様子を紹介でき、皆様に大変喜んでいただきました。その他、ドライブやお花見などにも一緒に出掛けることができ、良い思い出となりました。

★『ナゾとき介護』(県の事業)の開催(11月16日)

介護の現場から、介護の魅力を発信するというイベント。小学生が対象で、クイズや探検をしながら介護を楽しく学ぶ内容です。法人内の複数の事業所の職員や、他法人の職員の協力により実施できました。小学生の感想の中に「将来、介護の仕事がしたいと思いました!」という言葉があり、大成功だと思いました。

★入居していた方が、ご自宅に帰ることができました。

在宅生活が難しくなり当施設へ入居された方が、こちらでの生活を通して徐々に回復され、ご自宅に帰ることができました。在宅復帰にあたっては、より良い在宅生活のため、ご家族やケアマネジャーと話し合う時をもち、施設での生活の様子を伝え参考にいただきました。現在も、お元気に過ごしていらっしゃると思いました。



★約6年ぶりの、県と市による「運営指導」が無事終了(2025年1月)

介護保険法に則った運営が出来ているかの調査、久しぶりの運営指導だったので、関係する職員は緊張の一日を過ごしました。県や市の方から助言をいただいたり、情報共有する機会にもなり、有意義な時間でした。県の方から「介護保険法の理解がしっかりできています。」との講評を頂き、関係者一同、ホッとしました。

デイサービスセンターすずらん

★ご利用者と職員、ボランティアの皆さんが
興じた運動会(6月)

競技は玉入れ、スリッパボーリング等。勝ち負けがかかると皆さん真剣。一丸となって力を尽くしました。結局、敵も味方なく、全員優勝の運動会に!



★暑さが吹っ飛んだ夏祭り(8月)

ただでさえ暑いのに、祭りとなると、みんな大張り切り。法被に着替えて、音楽が流れるとなぜか体が踊りだします。大笑いした出し物は「人間輪投げ」です(説明できないのは残念!)

★子供達と「なぞ解きカイゴ」(11月)

カイゴの謎を解きながら介護の面白さを知ってもらう取り組み。高齢者の特徴を知ってもらったり、福祉車両体験や職員インタビューをしてもらうなど、たくさんの体験をしていただきました。



★巨大羽子板を作成し玄関に飾りつけ(12月28日)



全員が羽子板に集中。花の飾りや七福神の塗り絵、鶴の折り紙等々を次々に羽子板にくっつけ、最後に、巳年の巳の字を取り付けて完成。ご利用者も職員も達成感を味わって大喜び。すずらんの玄関が豪華?になりました。

★こんな大根、見たことない

職員が「この大根使ってくれる?」と持ってきたのが、丸々太った大きな大根。実だけで80cmほど。重さも7kg近く。3月の食事作りで、煮物や大根サラダを作り、皆ですべて平らげました。大根さん、ありがとう、そして、ご馳走様でした。



ワークセンターあさがお

★ご利用者2名が、ステップアップのため、他事業所へ移行

5月に男性ご利用者、8月に女性ご利用者が、他所へ移行。お二人とも丁寧かつ作業の早い方でした。お二人の長年のお働きに感謝し、これからのご健闘を祈るばかりです。



★焼津グランドボウルでボウリング大会(11月)

行きのバスの中では会話が弾み、大会への期待に溢れていました。経験者も多く、職員のスコアを大きく上回るご利用者もいました。半日の短い外出(昼食も含む)でしたが、大いに盛り上がり、「また行きたい」との声が大でした。



★駐車場に、安全ミラーやポールを設置

駐車場から出る際、建物等の影響で左右が見えにくく、歩道を走って来る自転車等に気づかず危険だったので、安全ミラーを設置。また、縁石も、その高さが分かりにくかったので、ポールを設置して確認しやすくなりました。



ワークセンターふれあい

★新しい仲間「三浦加奈さん」、ようこそ、ふれあいへ!(秋)

介護福祉士の資格を持つ、ベテランの介護士さんです。自分らしい働き方ができる就労の場を探す為、ふれあいに通い始めました。まだ30代。若さ溢れる元気と、手先の器用さを武器に、高齢化しつつある当施設に新風を吹き込み、平均年齢を下げてくれました!



★皆を楽しませてくれた森田竹男さん、今まで、ありがとう!(2025年3月)

愉快的な仮装やパフォーマンスでわたしたちを沸かせてくれた森田さんが、「自宅」から「グループホーム」へ移り、当施設「ふれあい」を離れて、「希望の家」や「地域活動支援センター」で働くことに。寂しくなりますが、これからも新しい場所で仲間の笑顔を引き出して下さい。←皆からの「エール」です!

★まちづくり島田から委託されていた「天王山草刈り」作業終了(2025年3月)

ご利用者の状況変化や、作業に協力してくださった保護者の皆様の高齢化、又、近年の著しい気候変動などもあり、「草刈り作業」を終了することにしました。ご利用者の工賃アップのため、これまで多くの方々に協力して頂き、感謝です。そのお礼のしるしに、写真付きの色紙を皆で作し、保護者の皆様へ贈呈いたしました。



牧ノ原やまばと学園 事業所所在地 一覧

(2025 年 4 月 1 日現在)

- 法人本部**

① 牧ノ原やまばと学園本部

障害者支援施設

② 垂穂寮

③ やまばと希望寮

養護老人ホーム

④ 相寿園

特別養護老人ホーム

⑤ 聖ルカホーム

⑥ グレイス

通所介護（高齢者施設）

⑦ ディサービスセンター真菜

⑧ ディサービスセンターすずらん

生活介護（障害者施設）

⑨ ケアセンターかたくりの花

⑩ ケアセンター野ばら

⑪ ケアセンター花もも

⑫ ケアセンターマーガレット

⑬ ケアセンターコスモス

就労継続支援事業所（障害者作業所）

⑭ ワークセンターカサブランカ（A型）

⑮ ワークセンターなのはな（B型）※

⑯ ワークセンターあさがお（B型）

⑰ ワークセンターやまばと（B型）

⑱ ワークセンター希望の家（B型・主）

⑲ ワークセンターふれあい（ 〃 ・従）

⑳ ワークセンターさくら（B型）

地域活動支援センター

㉑ レタスクラブ（ひきこもりがちな人への居場所）

訪問介護事業所

㉒ ライフサポートさぶらん



- | | |
|----|-------------------------|
| | 居宅介護支援事業所(ケアプラン作成) |
| 23 | 居宅介護支援事業所シャローム |
| | 相談・調整・権利擁護など |
| 24 | 牧之原市地域包括支援センターオリーブ(高齢者) |
| 25 | 生活支援センターやまぼと(障害者) |

- 共同生活援助（障礙）
- ②⑥ みぎわ
- ②⑦ もくれん 従 ※2
- ②⑧ わかば 主 ※2

- 保険医療機関
②9 やまばと診療所

※1 A型は一般企業就労を目指す作業所
B型は大半の人がここで働き続け、賃金を得ています。

※2 主は「主たる事業所」、従は「従たる事業所」の意味

歩みのあと

(三月一日～四月二十日)

- 3校の先生が、6/2三次補正等ヒアリング。3/24
 法人防災研修。講師は鈴木俊文氏。
 24新人職員事務所決算監査。4/25
 決算業務監査。4/23新人管理者研修
 4/25苦情解決委員会。
●個別のコース
〔法人〕3/10聖隷大学企業説明会出席。
 3/15第5回理事会議。補正予算事業計画等。3/28牧之原市合同企業説明会。
 3/21新卒職員就職前説明会。4/11さいわい法律事務所川崎分設に他2名の方が来訪。4/8焼津F&Tに理事長と高松スナックが出演。4/25長澤理事・中斷分地区総会に出席。
〔垂穂寮〕14島田市第4地区民生委員による見学と花植え。4/2中庭でお花見と災害用炊き出し訓練。4/22精神科高木医師による初回診療。
〔野ばら〕3/11ヤバハマセンタープラザへ外出。3/26地域貢献活動参加の作業報告。3/26野ばらの会で1年の作業報告。3/24明治なるほどプラトリール外出。24明治なるほどプラトリール外出。
〔みさく〕3/14島田市第4地区民生委員施設見学。4/27また子交流員参加。4/12クレパ作り。4/18野ばら家族へ施設見学と説明会。
〔やまぼと希望寮〕3/13日暮喜寿のお祝い。希望寮で最高齢。21希望寮ホールで人間スゴク。4/16利用者健康診断。4/23小外出で外食。
〔生活支援センター〕4/1生活支援センタ（づきざ）と協働の計画相談業務開始。
〔わかば〕「もくれん」3/15避難訓練。3/22また子交流会・初倉公民館。
〔花もも〕3/28人問すころく。4/25笑いヨル。
〔かたくりの花〕3/28年度末キーマカレィパーティー。4/25手打ちそばのはの会。実演見学者とさはり体験。
〔マカレィ〕3/3難寮。顔はめパネルで記念撮影。5/御前崎へドライブし散策。4/7小山城や川沿いの桜を見る。
〔カサランカ〕3/22焼津方面へ日帰りと交流参加。3/28健康診断。研修旅行。4/29家族会。4/1ワークセンター。5/7からケアセブ工事に大変更。4/17作業室改修工事。大井町公民館、おもしろ借用。4/14続表形式歓迎会。
〔なのはな〕3/6、7、14、26地域貢献活動ランチ提供。また子交流。3/10動蓮華寺池公園ウオーキング。3/11調理

- 実習 3 / 31 慰労会。
- 《希望の家》 3 / 7 KADODAWA 大井川で買い物理学習。3 / 26 まどろちま大井川で交流会。4 / 1 21 名。新年度スタート。
- 48 総合防災訓練。
- 《ふれあい》 3 / 7 交通安全教室 & 移行されるご利用者の壮行会。3 / 21 近隣の住宅 36 件を訪問し日頃の感謝。4 / 1 川根町の施設前の桜も満開。
- 《あさかおち》 3 / 14 体操教室。地域の方も参加。3 / 8 慰労会。4 / 19 保護者連絡会。
- 《Woozyまよば》 3 / 7 ポリシング大会。3 / 10 散歩をしながら河津校見学。3 / 6 20 / 23 4 / 12 牧草・原市内のイベントや月倉にて自主製品を販売。
- 《さくら》 3 / 月作業量増加のため協力体制の見直し。4 / 18 新規・利用者歓迎ボウリング大会。
- 《レタスクラブ》 3 / 14 落花生の種の植え付け。4 / 7 湯日川土手の清掃。4 / 14 ラチウチ。3 / 1 寺司町お吸い物。
- 《聖ルカホム》 3 / 9 28 就職フジに参加（副施設長、若手職員、お花見行事で一家族も参加）。
- 《グレイ》 3 / 4 日赤奉仕団による作業。3 / 6 優良入所検討会。堤防沿いの河津桜まつりへ参加。4 / 16 あさがおまつり。お花の切り貼り絵完成。
- 《相寿園》 3 / 1 3 / 13 のみ祭り。3 / 7 お手玉ダーツ。3 / 14 白ひり会。会終了後さみ切り提供。
- 46 笑弓ガガ。相良民生委員の施設訪問。4 / 23 習字クラブ。
- 《真菜》 3 / 14 念願の畑完成。3 / 20 ぼたもち作り。3 / 26 吉田公園。4 / 1 1 真菜開田 26 周年、あさみ会様の舞踊。4 / 5 勝岡田川桜並木散策。4 / 21 東光寺で藤をみる散策。
- 《すずろ》 3 / 1 入浴動作体操。3 / 19 大根を使い切る献立を立て調理。3 / 23 折り紙でいのぼり飾りを作成。
- 《さくら》 3 / 長く働いてくださった登録職員が退職、お花がとうさまた。
- 《シャロム》 3 / 6 はやく管理薬剤師による薬に関する研修受講。3 / 11 市上り任ケマネ連絡会。地域課題取り組む成果の確認など。4 / 10 市上り任ケマネ連絡会。年間活動計画作成など。
- 《オリフ》 3 / 17 虐待対応研修グループ。3 / 17 介護予防ケアマネジメン現任者研修。4 / 1 新しいスタッフが入り全員が揃う。
- 《ぶとろの木》 3 / 31 介護予防事業所としての活動終了。短時間では月から牧ての原市社協へ。啓発事業は法人で引き継ぐ。
- ☆紙面の都合で行事等省略です。ご支援いつもありがとうございます。(一)